

保護者等からの放課後等デイサービス評価の集計結果(公表)

R3年3月31日 時点

公表:令和3年 3月 31日(R2年度公表分)

事業所名:多機能型事業所 トワ・エ・モワ 保護者等数(児童数) 24名 回収数 15枚 割合 63%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	1	1	4		ソーシャルディスタンスの確保、ご利用者が作業に没頭しやすいように、事業所滞在時間をずらすなどを行っています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	1	0	1		従業員の半数を有資格者(保育士、リハビリスタッフ)が占め、個別性・専門性の高い支援を実施しています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	1	1	5		入口に段差があり改善を検討していきます。トイレ等の手すりは持ち運び可能な手すりをご用意しています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	13	1	0	1		各種、アセスメントを実施し課題分析を行い、個別支援計画作成を行っています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	12	2	0	0		学習面、運動面、生活面で日替わりで活動を実施している。各活動は小集団の強みを生かし、学校等でまなんだ内容の反芻・復習の意味を持つようにしています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	4	1	5		外出行事にて、地域等の交流を図っています。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	1	0	0		書面にて説明を行い、その都度同意を得ています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	15	0	0	0		保護者には、施設へのお迎えを依頼し、相互のコミュニケーションが図れるように協力をお願いしています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	3	0	1		お迎えの際や事業所内での面談を実施しています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	3	2	4		感染症流行状況に留意し、昨年度は1回/年の保護者会開催に留まった。今年度も社会情勢にあわせ開催を検討していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1	0	7		職員間で共有し、事実確認、原因分析、改善策を検討し、再発防止に努めています。また、当事者の方々には報告書を提示し状況・情報を共有しています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	2	0	0		随時、メール、電話、連絡帳等での情報伝達を行っています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	1	0	0		随時、活動内容、行事予定など、施設側よりお知らせを行い、周知して頂いています。
非常時 等の 対応	14 個人情報に十分注意しているか	14	1	0	0		個人情報使用には、説明を行い、同意を得ています。また、個人情報保護に係る研修を行い、個人情報後に努めています。
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	3	0	2		各種マニュアルに沿って予防的対応をしています。緊急時や感染症対策に関しては適宜、配信や文書配布にて通知致します。
満足 度	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	1	0	7		年に1回の頻度で実施している。
	17 子どもは通所を楽しみにしているか	14	1	0	0		
	18 事業所の支援に満足しているか	13	2	0	0		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されている。